様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	山口コ・メディカル学院
設置者名	学校法人山口コア学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	77 単位 81 単位	12 単位	
	作業療法学科	夜・通信	86 単位 87 単位	12 単位	
	言語聴覚学科	夜・通信	72 単位 67 単位	12 単位	
（備考） 上段（新課程）令和７年度入学生対象　下段(旧課程）令和６年度以前入学生対象					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ptotst.ac.jp/information/および各学科授業概要に掲載

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	山口コ・メディカル学院
設置者名	学校法人山口コア学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ptotst.ac.jp/information/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	山口市長	※下記	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社コア 代表取締役会長	※下記	組織運営体制へのチェック機能
（備考） ※令和７年５月 27 日～2 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで 学外理事　計２名			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山口コ・メディカル学院
設置者名	学校法人山口コア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)
① 作成過程
教育目標及び各学科で策定された方針と教務部会議での審議に基づき、作成したものを体系的にまとめ、科目間の関連をカリキュラムマップで明確化している。
②作成・公表時期
全ての授業科目担当教員が２月末までに作成し、年度当初（４月オリエンテーション時)、全学生に授業概要（シラバス）を配布している。
（※教務関連事項に変更がある場合には、その都度その要項を配布するとともに説明を行っている。）
③成績評価
各学年の前期、後期終了後に実施している。

授業計画書の公表方法	https://www.ptotst.ac.jp/information/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
・成績評価は、学生便覧－教務関連事項 Ⅲ 履修方法、Ⅳ 出欠簿などの取り扱い等についての項に定めるところにより、各講義の8割以上出席している者を対象に行っている。

・評価方法は、学生便覧－Ⅴ 試験、Ⅵ 成績評価の項に定めるところにより、
①学業成績は定期試験と平常成績等で総合的に判定する。
平常成績は随時行う小テスト、レポート、学習態度をさす。
②学業成績はいずれも 100 点満点とし、定期試験・平常成績で 60 点以上を得た科目について合格として認定する。
③学業成績の区分は次の通りである。
S（90 点以上)、A(80 点以上)、B(70 点～79 点)、C（60 点～69 点)、D（60 点未満)
④試験を再試験で合格した者は、その結果が 60 点以上であっても 60 点として取り扱う。

・年度毎の成績は、3月中旬に開催される進級判定会議にて最終決定する。進級判定会議メンバー:学院長、顧問、教務部長、学科長、事務長

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
・各科目の成績評価を 100 点満点で点数化し、学科単位で全科目の合計点及び平均値をとることで算出する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.ptotst.ac.jp/information/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ディプロマ・ポリシーを定め、授業概要・学校案内・ＨＰで公表している。 臨床実習を含め、定められた科目・単位数を取得した者は卒業判定会議（11 月下旬から 12 月上旬）を経て、学院長が卒業を認定する。 ・卒業判定会議メーバー:学院長、顧問、教務部長、学科長、事務長	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ptotst.ac.jp/information/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	学校法人山口コ・メディカル学院
設置者名	学校法人山口コア学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ptotst.ac.jp/information/
収支計算書又は損益計算書	https://www.ptotst.ac.jp/information/
財産目録	https://www.ptotst.ac.jp/information/
事業報告書	https://www.ptotst.ac.jp/information/
監事による監査報告（書）	https://www.ptotst.ac.jp/information/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療関係分野	医療専門課程	理学療法学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	上段(新課程)124単位 下段(旧課程)124単位 単位時間／単位	80単位 85単位 単位時間 /単位	19単位 13単位 単位時間 /単位	25単位 25単位 単位時間 /単位	0単位 0単位 単位時間 /単位	0単位 1単位 単位時間 /単位
			位時間／単位				

徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	108人	0人	6人	46人	52人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・年度当初（４月オリエンテーション時）、全学生に授業概要（シラバス）を配布している。 ・教務関連事項に変更がある場合には、その都度その要項を配布するとともに説明を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） (1) 学業成績は定期試験と平常成績等で総合的に判定する。 平常成績は随時行う小テスト、レポート、学習態度をさす。 (2) 学業成績はいずれも100点満点とし、定期試験・平常成績で60点以上を得た科目について合格として認定する。 (3) 学業成績の区分は次の通りである。 Ｓ（90点以上）、Ａ(80点以上)、Ｂ(70～79点)、Ｃ（60～69点)、 Ｄ（60点未満)とし、Ｃ以上を合格点とする。

(4)試験を再試験で合格した者は、その結果が 60 点以上であっても 60 点として扱う。
卒業・進級の認定基準
（概要） (1) 3年生への進級要件－2年生までに履修すべき必修科目の単位をすべて修得していること。 (2) 4年生への進級要件－3年生までに履修すべき必修科目の単位をすべて修得していること。
学修支援等
（概要） 補講、個人面談、三者面談、保護者会

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 （100%）	0 人 （ 0%）	27 人 （ 100%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 病院、医療機関			
（就職指導内容） 就職説明会（求人情報、就職活動前の心得等の指導など）、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士、高度専門士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116 人	4 人	3.4%
（中途退学の主な理由） 成績不振、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席管理、担任制、補講、個人面談、三者面談、保護者会の実施		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療関係分野	医療専門課程	作業療法学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	上段(新課程)124単位 下段(旧課程)124単位 単位時間／単位	80単位 86単位 単位時間 /単位	19単位 12単位 単位時間 /単位	25単位 25単位 単位時間 /単位	0単位 0単位 単位時間 /単位	0単位 1単位 単位時間 /単位
			位時間／単位				

徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人	52人	0人	5人	38人	43人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

・年度当初（４月オリエンテーション時）、全学生に授業概要（シラバス）を配布している。

・教務関連事項に変更がある場合には、その都度その要項を配布するとともに説明を行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

(1) 学業成績は定期試験と平常成績等で総合的に判定する。
平常成績は随時行う小テスト、レポート、学習態度をさす。

(2) 学業成績はいずれも100点満点とし、定期試験・平常成績で60点以上を得た科目について合格として認定する。

(3) 学業成績の区分は次の通りである。
Ｓ（90点以上)、Ａ(80点以上)、Ｂ(70～79点)、Ｃ（60～69点)、
Ｄ（60点未満)とし、Ｃ以上を合格点とする。

(4)試験を再試験で合格した者は、その結果が60点以上であっても60点として扱う。

卒業・進級の認定基準

（概要）

(1) 3年生への進級要件－2年生までに履修すべき必修科目の単位をすべて修得していること。

(2) 4年生への進級要件－3年生までに履修すべき必修科目の単位をすべて修得していること。

学修支援等

（概要）

補講、個人面談、三者面談、保護者会

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 （100%）	0 人 （　　0%）	12 人 （　　92.3%）	1 人 （　　7.6%）
（主な就職、業界等） 病院、医療機関			
（就職指導内容） 就職説明会(求人情報、就職活動前の心得等の指導など)、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士、高度専門士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	5 人	9.4%
（中途退学の主な理由） 成績不振、進路変更、病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席管理、担任制、補講、個人面談、三者面談、保護者会の実施		

①学科等の情報

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">医療関係分野</td><td>医療専門課程</td><td colspan="2">言語聴覚学科</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">上段(新課程)124 単位
下段(旧課程)124 単位
単位時間／単位</td><td>95 単位
98 単位
単位時間
/単位</td><td>14 単位
10 単位
単位時間
/単位</td><td>15 単位
15 単位
単位時間
/単位</td><td>0 単位
0 単位
単位時間
/単位</td><td>0 単位
1 単位
単位時間
/単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	39 人	0 人	4 人	48 人	52 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

・年度当初（４月オリエンテーション時）、全学生に授業概要（シラバス）を配布している。
・教務関連事項に変更がある場合には、その都度その要項を配布するとともに説明を行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）
(1) 学業成績は定期試験と平常成績等で総合的に判定する。
平常成績は随時行う小テスト、レポート、学習態度をさす。
(2) 学業成績はいずれも 100 点満点とし、定期試験・平常成績で 60 点以上を得た科目について合格として認定する。
(3) 学業成績の区分は次の通りである。
Ｓ (90 点以上)、Ａ(80 点以上)、Ｂ(70～79 点)、Ｃ (60～69 点)、
Ｄ (60 点未満)とし、Ｃ以上を合格点とする。
(4)試験を再試験で合格した者は、その結果が 60 点以上であっても 60 点として扱う。

卒業・進級の認定基準

（概要）
(1) 3年生への進級要件－2年生までに履修すべき必修科目の単位をすべて修得していること。
(2) 4年生への進級要件－3年生までに履修すべき必修科目の単位をすべて修得していること。

学修支援等

（概要）
補講、個人面談、三者面談、保護者会

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 （100%）	0 人 （　　0%）	7 人 （　　100%）	0 人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 病院、医療機関			
（就職指導内容） 就職説明会（求人情報、就職活動前の心得等の指導など）、面接指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士、高度専門士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	0 人	%
（中途退学の主な理由） 該当者なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席管理、担任制、補講、個人面談、三者面談、保護者会の実施		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
理学療法学科	400,000 円	850,000 円	200,000 円	
作業療法学科	400,000 円	850,000 円	200,000 円	
言語聴覚学科	400,000 円	850,000 円	200,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
特別修学支援制度、遠隔地生支援制度、ファミリー支援制度　等				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.ptotst.ac.jp/information/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
①主な評価項目 ⑴教育理念・目標　⑵学校運営　⑶教育活動　⑷学修成果　⑸学生支援　⑹教育環境 ⑺学生募集と受入れ　⑻財務　⑼法令等の遵守　⑽社会貢献・地域貢献 ②評価委員の構成 委員の定数…8 名、委員の選出区分…職能団体委員、企業等委員（各療法士）、卒業生 ③評価結果の活用方法 ・文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に準じ、 リハビリテーション分野で高い見識を有する 8 名の評価委員から指導や意見を伺う。 ・委員から意見や提案を聞き、課題等を発見でき、対応できる体制をつくる。 ・教職員会議や研修会等で意見交換や共通理解を図り、学校改善に向けて取り組む。 ・学校と地域や保護者等をつないで相互の連携協力を深める。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
一般社団法人 山口県理学療法士会	2 年	職能団体役員
一般社団法人 山口県作業療法士会	2 年	職能団体役員
一般社団法人 山口県言語療法士会	2 年	職能団体役員
医療法人医誠会　都志見病院	2 年	企業等委員 （理学療法士）
地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター	2 年	企業等委員 （作業療法士）
地方独立行政法人下関市立市民病院	2 年	企業等委員 （言語聴覚士）

社会福祉法人恩賜財団済生会支部山口済生会　済生会山口地域ケアセンター	2年	卒業生 （理学療法士）
まえば小児科こども支援事業所	2年	卒業生 （作業療法士）
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.ptotst.ac.jp/information/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.ptotst.ac.jp/information/